

オススメ本の紹介



『フェルマーの最終定理』

サイモン・シン 著、青木薫 訳／新潮文庫刊

ピタゴラスの定理からフェルマーの最終定理に至る数学に関する

様々なドラマを通じて、数学の不思議さや面白さを教えてくれる本です。難問に対してあきらめずに立ち向かうことや様々な観点から物事を考えることの大切さなど、研究・開発を志す人たちにとって大事なことも教えてくれます。



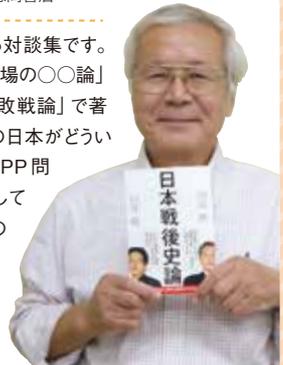
情報工学科
土井 章充 先生



『日本戦後史論』

内田樹・白井聡 著／徳間書店

二人の愛国者による対談集です。内田氏は多数の「街場の〇〇論」で、白井氏は「永続敗戦論」で著名な方です。現在の日本がどういう国なのか（基地問題、原発問題、TPP問題など）を知る上で新鮮な視点を提供してくれます。同じく現代日本の病状認識のため、孫崎享氏、矢部宏治氏も、そしてもっと深く文明論的なものを求める方には稲田劭氏もおすすです。



情報工学科
池庄司 英臣 先生

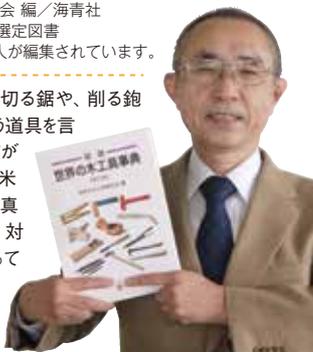


『図説 世界の木工具事典』[第2版]

世界の木工具研究会 編／海青社
・日本図書館協会選定図書
・番匠谷先生ご本人が編集されています。

木工具は木材を切る鋸や、削る鉋など手作業で使う道具を言

い、国によって形状・構造や使い方が異なります。日本、中国・台湾、欧米の3地域の各種木工具が多数の写真で紹介され、使用目的による分類・対応付けが行われています。寝転がって木工具の写真を眺めるだけでも楽しい1冊。建築・デザイン系学生にお薦めの書。



環境デザイン学科
番匠谷 薫 先生



『感情的にならない本』

和田秀樹 著／新講社

コミュニケーションをメールで済ませることが多くなってきました。直接相手と会う機会が減ってきました。落ち込んでしまったときや理由もなくイライラするときなど、人間の本能として感情的になることがあります。本書には、題名の通り感情的にならないためのヒントが書かれています。迷わずに選んだ1冊です。



生体医工学科
新田 和雄 先生



『査察機長』

内田幹樹 著／新潮社

腕に覚えのある若い機長が、下手をすると降格されかねない査察飛行（チェックフライト）に挑むお話です。

チェッカー（査察機長）は言います。「機長は後ろをみて飛ば」
若い機長はチェックを通じ、本当に大切なこととは何かを教えられます。旅客機のパイロットを題材していますが、「大切なこと」の考え方は一般にも通じるものがあります。



入試広報部
脇坂 憲太郎 課長



『錬金術師ニコラ・フラメル』(アルケミスト1)

マイケル・スコット 著、橋本恵 訳／理論社

携帯電話やiPodが溢れる現代のサンフランシスコで、高校

生の双子の姉弟が一冊の書物を巡る命懸けの運命へと巻き込まれていくノンストップファンタジー。序盤からの量み掛ける展開や複数の場所で同時進行する物語に、あっという間に引き込まれました。時にはスマホなどから離れ、図書の世界にいざなわれてみるのはいかが？



企画室
込山 篤史 さん



『悩む力』

姜尚中 著／集英社

私は何のために生まれたのか？私私私として生きていく意味とは？夏目漱石とマックス・ウェーバーの言葉をヒントに、分かりやすく丁寧に解説されています。私は読み終わった後、何気なく過ごしている日々が意味のあるものと思えて、家族や友人に感謝したくなりました。これからもたくさん悩んでほしい学生さんにぜひ読んで欲しいです。



教育機構支援室
岡崎 久美子 さん



『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キイス 著、小尾英佐 訳／早川書房

読書の醍醐味は、本を読むだけで他人の人生を体験でき

ることだと思います。その体験の中で、一番印象に残っているのがこの本です。人はそれぞれ持つ能力、相応しい能力が異なります。何か問題にぶつかった時、進むべき道を考えさせつつ、困難に打ち勝つ力を与えてくれ、「自分」という存在を確かめる事ができる一冊です。



就職部
福田 恵里子 さん